

鳥類センター60年のあゆみ

久留米市鳥類センター

**Poppo**

ポッポ

公益財団法人久留米市都市公園管理センター  
久留米市鳥類センター

〒830-0003 福岡県久留米市東櫛原町中央公園内

TEL 0942(33)2895 FAX 0942(33)2896

休園日 毎月第2月曜日(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月29日~1月1日)

久留米市鳥類センター

検索



# 鳥類センター60年のあゆみ



1 待望の **千羽孔雀** 達成!!

市動物園として開園後、クジャクの繁殖に力を入れ、10年後には当園で繁殖したクジャクの数が千羽を超えました。当時、「クジャクの街“久留米”」として全国的に有名になりました。

2 **タンチョウ** がやって来た!

1983年中国の合肥市より日中友好の証として、タンチョウのペア（オス・メス）が贈られました。

3 久留米駅に **クジャク** が!?

鳥類センターでの千羽孔雀達成を記念して、国鉄（現JR）久留米駅でクジャクを公開しました。2006年新幹線開通工事までの約40年間、クジャクたちは駅の名物でした。

11月9日 OPEN!



60周年の記念として、**ふれあいコーナー**が新しくなりました!!  
ふれあいコーナーにはウサギやモルモットとふれあうことができます。

～ ご挨拶 ～

これまでの長い歴史を重んじながら、大勢のお客様がご来園頂いた事に深く感謝いたしております。これから先も鳥類センターに多くの方々にご来園くださり、笑顔が絶えない賑やかで親しみやすい園づくりをスタッフ一同目指してまいります。



久留米市鳥類センター 園長 光山 日出子

BIG NEWS Best 3!!

1954年

久留米市動物園開園



久留米市三本松公園に開園。当時は、熊や猿などを飼育していた。またインドクジャクの繁殖に力を入れ、1ペアのクジャクの繁殖から、10年後には繁殖数、千羽を達成する。

1964年

久留米市鳥類センター設立



1970年

中央公園へ移転



蒸気機関車 D-51を国鉄（現JR）より寄贈される。D-51は、現在も“デゴイチ”の名前で多くの人達に人気がある。

1974年

SL D-51 展示



1984年

開園30周年



30周年の記念としてダチョウ、ヒクイドリ、エミューなどの走鳥類が来園。

1995年

ドーム型バードゲージ完成



園内中央に大きなドーム型のバードゲージが完成!!ゲージの中ではフラミンゴやアイカモが放し飼いされ間近に観察できる。

パンペンケープです!



1999年

開園45周年

45周年の記念としてケープペンギンが来園。ペンギンに親しんでもらうため、グループ名を「パンペンケープ」と名付けた。

50周年記念としてショウジョウトキシロトキが来園。

2004年

開園50周年



2014年

開園60周年!!

